



公開シンポジウム

中等教育でまなぶ

「人種」「民族」と

ヒトの多様性

■日時

2013年4月27日(土) 14時～18時

■場所

日本学術会議 講堂

(地下鉄千代田線乃木坂駅下車5番出口すぐ)

■プログラム 司会：加藤和人(大阪大学教授)

〈開会挨拶〉 馬場悠男(国立科学博物館名誉研究員・日本学術会議連携会員)

〈趣旨説明〉 竹沢泰子(京都大学教授・日本学術会議連携会員)

〈問題提起〉

生物教育におけるヒトの多様性 市石 博

(東京都立国分寺高等学校教諭)

地理教育における「人種」「民族」 浅川俊夫

(埼玉県立浦和第一女子高等学校教諭)

〈報告〉

骨から見るヒトの多様性 瀬口典子(九州大学准教授)

遺伝子から見るヒトの多様性 徳永勝士

(東京大学教授・日本学術会議連携会員)

「民族」とは何だろう 内堀基光(放送大学教授・日本学術会議連携会員)

創られた「人種」 竹沢泰子

〈質疑応答・全体討論〉

〈開会挨拶〉 山本真鳥(法政大学教授・日本学術会議第一部会員)

■主催

日本学術会議自然人類学分科会・人類学分科会

■共催

「人種表象の日本型グローバル研究」(科研基盤(S))

京都大学人文科学研究所

■問い合わせ先

jinsbu@zimbun.kyoto-u.ac.jp

http://race.zimbun.kyoto-u.ac.jp

申込み不要・聴講無料



公開シンポジウム

中等教育でまなぶ

「人種」「民族」と

ヒトの多様性

「人種」は生物学的実体を持ち、「民族」は文化の違いにより明確な境界をもつ集団であるというこれまでの理解は、近年の研究により見直されている。本シンポジウムでは、中等教育における新しい学びのあり方を高校教員と研究者がともに考える。



日本学術会議 講堂
(地下鉄千代田線乃木坂駅下車5番出口すぐ)



Profile

市石 博

Hiroshi Ichiishi

東京都立国分寺高等学校教諭。日本人類学会教育普及委員会にて自然人類学的知識の授業への応用などに携わる。日本生物教育会事務局、NHK高校講座生物の講師も務める。高校生物教科書執筆者。

浅川俊夫

Toshio Asakawa

埼玉県立浦和第一女子高等学校教諭。日本地理学会地理教育専門委員会委員、日本学術会議学校地理教育小委員会委員として地理教育の振興に取り組んでいる。新しい高等学校学習指導要領の同解説地理歴史編作成協力者。

瀬口典子

Noriko Seguchi

九州大学大学院比較社会文化研究院准教授。2012年まで米国モンタナ大学人類学部で教鞭を執る。専門は形質人類学。古人骨を試料とし、人類移動と拡散の歴史研究や、ヒトの身体形質の変異・多様性の要因解明に取り組んでいる。



Science Council of Japan

徳永勝士

Katsushi Tokunaga

東京大学大学院医学系研究科教授。日本学術会議連携会員。専門は人類遺伝学。*Journal of Human Genetics*編集委員長。アジア系集団のゲノム多様性に関する生物医学的研究、複合疾患の発症に関わる遺伝子の探索研究を行っている。

内堀基光

Motomitsu Uchibori

放送大学教授。日本学術会議連携会員。専門は社会文化人類学。ボルネオ島、マダガスカル島にてフィールド調査に携わり、民族形成と民族間関係、進化から見た人類社会などについて研究している。現在高校地理の教科書執筆にも関わっている。

竹沢泰子

Yasuko Takezawa

京都大学人文科学研究所教授。日本学術会議連携会員。専門は文化人類学、人種・エスニシティ論。科研費基盤(S)「人種表象の日本型グローバル研究」の代表として、社会的「人種」や人間の多様性について国際共同研究を進めている。



<http://race.zinbun.kyoto-u.ac.jp>